

日加 GHG 研究の結果

Joseph Aquino – Pinnacle Renewable Energy

カナダの木質ペレット生産者は、責任あるグリーンなエネルギー製品を世界中のお客さまにお届けすることを自らの約束としています。科学とデータによって製品の環境性能を実証するなど、透明性の確保に努めます

最近のことですが、WPAC 会員は、カナダ国内の生産地から日本到着までのサプライチェーン全体の温室効果ガス(GHG)排出量の徹底した分析を実施し、米国南部で生産されるペレットならびに石炭の同様の分析との比較を行いました。データは、第三者による監査済み GHG 報告書を出典としています。

全部で 17 か所の西部カナダのペレット工場のデータを収集分析し、これを他の燃料源と比較したものです。計 3 つの燃料源について以下に関わる GHG 排出量を算出しました。

- 原料の資源採取及び栽培
- 客先までのサプライチェーン全体の輸送
- 燃料の使用(発電)

結果は、木質ペレットは日本で燃焼されたときの GHG 排出量が、石炭の場合のわずか 8.37% (91%以上の GHG 削減)であったというものでした。一方、米国南部、アラバマ州で生産したペレットは、石炭の場合の 20.08% (ほぼ 80% の削減)の排出量でした。

西部カナダ産の木質ペレットは、他の地域産に比べ、北米からアジアまで最短海上ルートであるという輸送上の有利性があります。特に石炭を対象とするときに言えることですが、木質ペレットには、化石燃料に比較して、気候変動対策上、明らかな利点があり、低炭素社会に移行する際に重要な役割を果たすことができます。

[ここ](#) をクリックして Aquino のプレゼンテーションをお聞きください。